

14日 山川侑美さん・畑田真穂さん(苫西高2年)が 剣詩舞全国大会に出場

10月8日に福井県で行われる「日本コロムビア剣詩舞コンクール全国決戦大会」の未来を担う幼少年剣詩舞の部門に、聖月流日本吟剣詩舞道会厚真支部所属で苫小牧西高校2年の山川侑美さん(共和)と畑田真穂さん(共栄)が選ばれ、宮坂町長に出場報告を行いました。

同部門は、今大会から新設された部門で、実行委員会から3組が選抜され、その内の1組になりました。大会では白虎隊を披露する予定。山川さんは「白虎隊は普通、人数が多く迫力を魅せる踊りだけど、2人で演じるので表情や力強い動きを頑張りたい」、畑田さんは「初めて推薦で選ばれたので緊張すると思うけど、練習どおりの踊りを披露したい」と抱負を語っていました。



左から指導者の藤江さん、山川さん、畑田さん

14日 今年も元気に長寿をお祝い 町敬老会

平成29年度厚真町敬老会が総合福祉センターで行われました。今年度対象となる満80歳以上の方は721人で、当日は288人が出席しました。

式典で宮坂町長は「笑顔を大切にしてほしい」とあいさつ。厚真町民吹奏楽団の演奏や豪華な食事で、楽しいひと時を過ごしていました。



17日 聖月流日本吟剣詩舞道会厚真支部が 全道大会初優勝

聖月流日本吟剣詩舞道会厚真支部が千歳市で行われた全道吟詠剣詩舞大会の合舞の部Aで初優勝を飾りました。

合舞の部には道内各地から25組が参加。大会では9人が「春日山懐古」を披露しました。藤江美月支部長(共和・藤江利律子さん)は「来年、活動15年目の節目を迎えるので、今回は2カ月前から大会に向けて練習していました。まさか優勝できるとは思っていませんでしたので、驚きました」と喜びを語っていました。



19日 自然の中でリフレッシュ 親子deくつろぎ森ガール

豊沢地区の環境保全林で、子育て中のお母さんを対象とした森あそびが行われました。これは昨年に引き続き2回目の開催で、今年は就学前までの子どもと母親11組20人が参加。

参加者は森の中での散歩や木材を使ったボタンの制作、パン作り、アロマオイルを入れた足湯などを体験し、日ごろの疲れを癒していました。今年10月28日(土)にも開催予定です。



29日 研修農場で栽培したホウレンソウ 初収穫、初出荷

旧富野小学校のグラウンドを活用した担い手研修農場で栽培したホウレンソウの初収穫、初出荷を行いました。

地域おこし協力隊・農業支援員の4人が、集落アドバイザーの3人から指導を受けながらビニールハウスの組み立てからホウレンソウの生産まで行いました。この日は、「ミラージュ」という品種を約20kg収穫、出荷しました。

地域おこし協力隊のメンバーは、「無事に出荷することができて、一安心です」と話していました。



1日 高齢者や妊婦を疑似体験 厚南中で大津波を想定した避難訓練

厚南中学校(細野輝彦校長)で、地震による大津波を想定した避難訓練が行われました。訓練では、全校生徒40人が避難所となる上厚真小学校まで約1.4kmを移動しました。

生徒の一部は、白内障で足が不自由な高齢者、妊娠中の女性などを疑似体験できるゴーグルやギブス、ジャケットを着用して避難。生徒は、自分の命を守る方法に加え、年齢や身体状況の異なる方が避難するときに、どのような手助けが必要になるかについても学んでいました。



1日 地域でのビジネスの可能性を探る ローカルモーカル研究会2017

さまざまな分野で最先端を行く経営者を講師に招き、地域におけるビジネスの可能性を研究する厚真町ローカルモーカル研究会2017が総合ケアセンターゆくりで開催され、町内外から約30人が参加しました。

講師は鳥取県八頭町で大江ノ郷自然牧場を運営する有限会社ひよこカンパニー代表取締役の小原利一郎さん。「農業6次化で稼ぐ戦略会議」をテーマに、たった1人で始めた養鶏が、100人の雇用を創出する会社になるまでのエピソードや地域で展開するビジネスについてを話していました。参加者は、ビジネスのヒントを得ようと熱心に耳を傾けていました。

この研究会は全3回を予定しており、次回は11月11日(土)に開催されます。



4日 地域おこし協力隊・農業支援員として 金谷俊輔さん(30歳)に委嘱状を交付

地域おこし協力隊・農業支援員の委嘱状交付式が行われ、新しく支援員となった金谷俊輔さん(30歳)に宮坂町長が委嘱状を手渡しました。

金谷さんは苫小牧市出身で、化学工場や和寒町の農業生産法人に勤めていました。

金谷さんは「将来はハウレンソウやカボチャを作りたいです。苫小牧の祖父の家でハスカップを食べて、おいしかったのでハスカップも作ってみたいです」と意気込みを語っていました。



12日 いらっしやいませ! こども園つみきでお店やさんごっこ

10月12日から2日間、こども園つみきの3歳から5歳の園児によるお店やさんごっこが行われました。これは、売り手と買い手を体験することでコミュニケーションを学ぶことを目的に開催。園児の家族を招待して行われました。

園児は、毛糸で作ったラーメンや紙コップのミニカーなどの商品を作り販売。売り手は「いらっしやいませ」と大きな声で、お客さん呼び込み、園児も家族も手作りのお店やさんを楽しんでいました。

